

岡山県大学図書館協議会平成25年度第1回総会議事要旨

日 時：平成25年6月11日（火） 13:00～15:00

場 所：くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 1号館3F会議室

出席者：20校 26名

総会に先立ち、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 松田英毅理事長から挨拶があった。

続いて代表幹事館くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学附属図書館秋山博正館長による開会の挨拶があった。

その後、出席者自己紹介が行われた。

議 事

1. 報告事項

1) 平成24年度事業報告

平成24年度代表幹事館新見公立大学附属図書館から、資料1により平成24年度の事業報告が行われた。なお、研修委員会及び研修事業報告については、前年度研修委員会委員長津山工業高等専門学校図書館から資料2により行われた。なお、議長から資料2の表記について訂正があった。

2) 平成24年度決算報告

平成24年度代表幹事館新見公立大学附属図書館から、資料3により決算報告が行われた。

3) 平成24年度監査報告

平成24年度監査館岡山商科大学附属図書館から、監査の結果、適正に処理されていることが報告された。資料3について、監査報告書の監査館岡山商科大学附属図書館館長・大崎紘一氏の署名の日付が間違っているとの指摘があり、協議の結果、図書館協議会印の押印を以って訂正印とすることで承認された。

4) 相互協力状況等

資料4-1から資料4-3に基づき、各図書館から相互協力の実態についての報告があった。資料4-1につき一部の表記に訂正が生じたので、後日資料を作成し直して送付する。

5) その他

なし

2. 協議事項

1) 平成25年度事業計画（案）について

事務局から、資料5に基づき年間予定の説明があった。なお、研修会については後日開催する研修委員会で研修事業（案）を協議してもらう予定であることの説明を行い、承認された。

2) 平成25年度予算（案）について

事務局から資料6に基づき説明があった。研修会実施予算について、過去に遡って決算

を見てみると、研修の内容によってはオーバーしている年もあり、例年の 70,000 円という額では不足と見受けられる。よって研修会実施経費を 20,000 円増額して 90,000 円とする提案があった。なお、増額する 20,000 円分は総会費と研修委員会会議費、事務局諸費をそれぞれ減額することで補う。

これに対し、昨年度は予算内で収まっているので、20,000 円もの増額が本当に必要なのかとの質問があった。新見公立大学図書館から、昨年度予算執行が予算範囲内で収まっているのは、2 回実施した研修会のうち、謝金や交通費が発生していない事例があるためであるとの説明があった。

今後のために、研修会の謝金等の経費に規定を設けてはどうかとの提案があった。協議の結果、研修会実施経費の額によって自動的に謝金等の上限額が決まるため、規定は設けない。その分弾力的に予算を活用していくことで合意し、予算案が原案通り承認された。

3) 岡山県大学図書館協議会役員館について

事務局から、資料 7-1、7-2 に基づき、岡山県大学図書館協議会役員館輪番について確認された。

4) 岡山県大学図書館協議会研修委員館および研修委員会委員の選出について

事務局から資料 8-3 に基づいて平成 25 年度研修委員案について説明があり、承認された。なお、研修委員が未決定の館については、各館からの推薦を以って承認されることとなった。

5) 岡山県図書館協会役員館・企画委員館について

事務局から資料 9 に基づき説明があり、原案通り承認された。

6) 博士学位論文のインターネット公開への対応状況について

岡山理科大学図書館から趣旨説明があり、博士課程のある岡山大学附属図書館、川崎医科大学附属図書館、川崎医療福祉大学附属図書館、ノートルダム清心女子大学附属図書館、就実大学・就実短期大学図書館より現状報告が行われた。

7) その他

なし

3. その他

岡山大学附属図書館から、本年度 9 月から 3 月まで図書館耐震工事を行うため、8 月から 9 月中旬にかけて引っ越し作業のため閉館することが報告された。9 月中旬以降は、中央図書館は新館で開館するが、鹿田分館については仮の図書室で開館するため、利用や相互貸借等、一部のサービスを制限する。

岡山理科大学より、5 月連休明けのアンケート回答について、各館に御礼を述べた。

議長が閉会の挨拶を行った。

以上